

フェアリーリング対策資材

# リングアウト

2.5Kg×8袋

## 特 長

「きのこ」の天敵微生物である「土青かび」7種に加えて「バチルス」「タラロマイセス」をそれぞれ純粋培養して配合してあります。

最強の「抗きのこ軍団」とよべます。もともと、土壤に生息する微生物群であり、環境にやさしい安全な資材です。

## 成 分

●土青かび ●バチルス ●タラロマイセス

それぞれ100g中 $10^9$ 以上という高濃度(微生物密度)で配合してあります。

## 使用方法

1000リットルタンク車に5Kg~10Kg投入して、剥(む)く刃でコアリングした空孔に1m<sup>2</sup>あたり1リットル程度、流し込んで下さい。なるべく「きのこ」のコロニーに近づけ施用することがポイントです。

## 補 足

「きのこ」は植物で言えば「花」とか「実」にあたる部分で「子実体」と呼ばれています。「きのこ」が無くても「菌糸」が「コロニー」を形成していると、砂地に鼻を近づけて嗅ぐと「きのこ」の臭いがします。「菌糸」が死滅しない限り、翌年に同じ場所に、同じように一回り輪が大きくなった「きのこリング」が出現します。

## 使用上の注意

本品は微生物資材です。殺菌剤(なかでも、とりわけ「ベノミル剤」「チオファネートメチル」「イブジオン」「フェナリモル」との混用は避けて下さい。

## フェアリーリングの対策

ゴルフ場で「大きな円形の緑の輪」または「輪になって発生している茸」を見かける事があります。これが「フェアリーリング」と呼ばれているものです。これらの正体を調べてみますと、「ほこり茸」「芝生茸」「小むらさきシメジ」などが多い。木材腐朽菌の仲間である。「土壌中にある枯れ木の残渣物」「芝生の枯れた残根」「芝生の刈残し残渣物」「落ち葉」そして改良剤として使用されてきた「堆肥」「ピートモス」「亜炭」などの未分解有機物などが原因の一つとなっています。これらが分解されながら円形に勢力範囲を広げて行くのです。

見た目が悪いのと同時に、芝生の生育を妨げたり、ドライスポットの原因になったりします。

木材腐朽菌の担子菌門に含まれる上記の菌類は、「適当な水分」「水はけが良い(酸素が豊富)」「暖かい」ところを好みます。こうした条件下で、「未分解有機物」があれば、繁殖の条件が揃います。

「未分解有機物」以外の無機成分につきましては、以下の参考分析があります。

	灰分	カリ	ソーダ	石灰	鉄AL	苦土	リン酸	硫酸	珪酸	塩素	炭酸他
菌系	6.33	9.80	0.24	14.71	26.65	1.48	36.23	4.83	3.50	1.21	2.90
子実体	9.66	56.06	1.60	0.35	4.04	0.00	25.30	2.63	4.05	3.39	2.89

キノコ類の栽培法 岩出亥之助著 地球出版株式会社 より

「きのこ」の菌系、子実体(茸)の上記、成分分析表から、「きのこ」の必要とする無機成分を推察すると、「リン酸」「カリ」そして「カルシウム」などが考えられます。

## キノコの発生しやすい条件

- ① 未分解有機物の多い(サッチ層の厚い)土壌。
- ② リン酸の蓄積が多い土壌。
- ③ カルシウム、カリなどの多い土壌。
- ④ 水はけが良く、酸素が十分に供給される土壌。
- ⑤ 殺菌剤が多用され、有機物の分解菌の不足した土壌。

## お悩み解決の最短方法

- ① 未分解有機物の除去。(もし、殺菌剤を使用していたら、セルロース分解酵素を利用すると良い。「ブンカイザー」などの酵素剤は、殺菌剤を使用しても効力が落ちません。)
- ② 「きのこの出なくなる殺菌剤」を使用すると、「未分解有機物」を分解する善玉菌まで不足します。「リングアウト」の善玉菌の補給が、「急がば廻れ」で解決を早めます。
- ③ 毎年、フェアリーリングが出現していた箇所は、春秋のイノベーション時に、最低年間二回の「リングアウト」のご使用をお勧め致します。

お問い合わせ先・販売店

株式会社 大谷金太郎商事  
神奈川県厚木市金田 834-2  
電話 046-224-7363

バイオビジネス  
普及会